新おおつち地域漁業復興プロジェクト　岩手県大槌町

事業実施者：新おおつち漁業協同組合　使用船舶名：第一久美愛丸、瀬谷丸（19トン）（定置網漁業）

支援期間：平成24年9月1日～平成27年8月31日

（取組の内容）

●新造網起こし船の導入：既存船3隻を縮減し、新造船2隻を導入。修繕費、燃油使用量を削減し、操業安全性、居住環境、漁獲物の鮮度及び供給能力を向上

●操業形態の再編：仲網漁場を休場し、経費を削減
春・夏漁を行い、地元の水産業の活性化に貢献

●市場形態の刷新：市場システムを導入し、水揚後の作業時間を短縮
鮮度保持方法を転換

（事業の成果）

●水揚量は年々増え、3年目で計画1,047トンを134トン（13%）上回り、地域水産業の復興に弾みをつけた。

●新造網起こし船を導入し、操業形態を再編。操業能力が向上し、年間の燃油使用量を計画に比して55%（101kl→45kl、3年平均）削減した。また、市場に入札システムを導入し、水揚げから入札に掛かる時間を短縮した。これらの結果、平均単価は計画266円/kg（3年平均）に比して279円/kg（3年平均）で13円/kg（約5%）上昇した。

●償却前利益59百万円（3年平均）を得た。

●復興3年目にサケ卵が不足したため、親サケ1,582尾をふ化場へ提供した。サケの卵確保に協力した。